

常任委員会の審査報告

市議会は、3月5日に総務常任委員会、6日に文教福祉常任委員会、そして9日に建設経済常任委員会を開会し、

定例会初日に付託された議案20件について、現地調査及び審査を行い、それぞれ所管事務調査を行いました。

議案審査

ピックアップ①

老人医療制度の自己負担割合が変わります

福祉医療費の支給に関する条例の一部改正

【賛成多数・可決】

府の老人医療制度の見直しに伴い、65歳以上70歳未満の自己負担を1割から2割に変更し、受給対象者を住民税非課税世帯から所得税非課税世帯に変更するもの。

帯に変更するもの。

本人負担が重くなり、医療が受けにくくなるのでは。

（副市長）対象となる方々の負担を軽減する老人医療制度を維持するといふ考えによるもので、高齢者福祉を総合的に考えなければならぬ。

ピックアップ②

預かり保育を市立の全幼稚園で実施

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の制定

【賛成全員・可決】

子ども・子育て支援法に基づき、幼稚園や保育所などの利用者負担額及び、市立幼稚園全園で実施する預かり保育の利用料を定めるもの。

ピックアップ③

6年生まで学童保育の対象に

留守家庭児童会の運営に関する条例の一部改正

【賛成全員・可決】

対象児童の6年生まで拡充と、支援員配置の充実、三山木留守家庭児童会の設置場所変更のため改正するもの。

国民健康保険法の一部改正に伴い改正するもの。

消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

部改正 【賛成全員・可決】
消防団員の処遇改善を図るため、報酬年額を引き上げるため改正するもの。



さくらの丘公園と併設して建てられた新公民館（同志社山手二丁目）

市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正

【賛成全員・可決】

同志社山手二丁目の新設公民館を同志社山手南公民館、一丁目の既設公民館を同志社山手北公民館とするため改正するもの。

情報公開条例の一部改正

【賛成全員・可決】

特定独立行政法人を行政執行法人に改める法律の一部改正に伴い改正するもの。

行政手続条例の一部改正

【賛成全員・可決】

行政手続法の改正により、行政指導の方式、行政指導の中止等の求め、処分等の求めに関する規定が設けられたことから、本市条例においても同様の規定を設けるもの。

国民健康保険条例の一部改正 【賛成全員・可決】

め改正するもの。

介護保険条例の一部改正

【賛成多数・可決】

平成27年度から29年度までの介護保険料率を定めるほか、介護予防・日常生活支援総合事業等の実施に伴い、円滑な制度移行のため猶予期間を定めるなどため改正するもの。

保険料率見直しについての特徴は。

（高齢介護課長）低所得者における国の規定は1割負担だが、本市では1割にならないよう負担割合を下げ、所得の高い層で区分を細かく分け、応分の負担とするようにした。

子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の制定

【賛成多数・可決】

子ども・子育て支援新制度において、正当な理由なく給付に係る調査などに、不誠実な対応を行う事業者や保護者等に、抑止を目的として過料を定めるもの。

地域包括支援センターの運営及び職員に関する基準を定める条例の制定

【賛成全員・可決】

第3次地方分権一括法による介護保険法の改正により、市の条例で定めることになったため制定するもの。

介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

【賛成多数・可決】

小規模多機能型居宅介護の登録定員等に係る規定などの改正と、複合型サービスの名称変更に伴う文言整理等のため改正するもの。

め廃止するもの。

産業振興ビジョン推進委員会設置条例の制定

【賛成多数・可決】

産業振興ビジョン策定に向け委員会を設置するため制定するもの。

道路線の認定

【賛成全員・可決】

山手幹線において中央分離帯が設置されることから、同志社山手跨道橋などを認定するもの。

道路線の廃止

【賛成全員・可決】

府による山手幹線の整備に伴い変更が必要となった既設路線を廃止するもの。



全線開通時には中央分離帯が設置される山手幹線（三山木口駒ヶ谷）

所管事務調査

学校図書館司書

各小学校に配置を。

（学校教育課長）現在、司書4名と各校の司書教諭が、より良い図書教育、読書活動ができるよう連携している。

財源確保

今後訪れる超高齢社会に向けての財源確保は。

（企画政策部長）引き続き子育て施策等に取組んで、生産年齢世代が居住しやすいまちづくりをすることや、新名神の開通による交通のハブ機能を活かした企業誘致を進めたい。

法人市民税の税収

（副市長）

が少ない本市の特徴を改善する必要があると考える。また、60歳以上の方も消費者ではなく生産者として生活できる環境づくりを考えたい。

交差点の安全対策

田辺高校前の変則交差点で事故が起きている。以前から歩行者等の安全確保が求められているが。

施設整備課長）平成9年の京街道線拡幅時に、変則交差点の解消に向けた協議を進めたが、地権者の承諾を得られなかった。歩行空間の確保により、安全を図れるよう協議を進めたい。